



やすず町議会だより

発行／鳥取県八頭町議会 編集／八頭町議会広報常任委員会
Tel.0858-72-3975 Fax.0858-72-2641



▲笑顔でスタート 新議員

もくじ

■新体制スタート	2
■3月議会定例会の概要	4
■一般質問	8
■6月議会定例会(予定)	12



委 員 会 構 成

教育福祉常任委員会

委員長 小倉一博
副委員長 前土居一泰
委員 池本強、柴田秀之、川西末男、下田敏夫

教育、福祉、保健衛生に関する事務の調査及び議案、請願、陳情の審査等を担当

産業建設常任委員会

委員長 桑村和夫
副委員長 小林久幸
委員 山本弘敏、西尾節子、谷口美佐子、高橋信一郎

農林水産、商工、土木建設、都市計画、環境整備、地籍調査に関する事務の調査及び議案、請願、陳情の審査等を担当

総務常任委員会

委員長 谷本正敏
副委員長 河村久雄
委員 森山大四郎、川西聡、岡嶋正広、矢部博祥

議会、庶務、財務、企画、人権、消防及び他の委員会に属しない事務の調査及び議案、請願、陳情の審査等を担当

議会運営委員会

委員長 下田敏夫
副委員長 谷口美佐子
委員 矢部博祥、小倉一博、桑村和夫

議会の運営、議長の諮問に関する事項等を担当

議会広報常任委員会

委員長 矢部博祥
副委員長 栄田秀之
委員 川西末男、高橋信一郎、川西聡、西尾節子、山本弘敏

議会だよりの編集・発行、議会ホームページの編集・掲載、広報に必要な調査等を担当

鳥取県東部広域行政 管理組合議会

議員 森山大四郎

鳥取県後期高齢者 医療広域連合議会

議員 森山大四郎

八頭環境施設組合議会

議員 森山大四郎

監査委員（議会推薦）

委員 池本強

議員 桑村和夫

人事

五月一日・一三日臨時議会を開催し、次のとおり人事案件を同意した。

教育委員会委員

西山 淳夫氏（北山）
勝連 太郎氏（橋本）
任期 平成二十二年五月三日から平成二十五年五月二日まで

監査委員

田中 壽人氏（茂田）
任期 平成二十二年五月一日から平成二十五年五月一日まで

副町長

井山 愛治氏（見槻）
任期 平成二十二年五月一日から平成二十五年五月一日まで

新体制スタート

The new system of yazu-cho starts

議長に森山大四郎氏 副議長に山本弘敏氏

初議会を4月27日に1日限りの会期で開催した。
議案審議に先立ち、議長・副議長の選挙、常任委員会・議会運営委員会の構成を行った。

就任ごあいさつ



議長 森山大四郎

この度、八頭町議会において議長選任の結果、私が二期目における議会議長に就任させていただくことになり、皆様に「ごあいさつ」申し上げます。

八頭町が平成二十七年三月三日に誕生し、五年目となりました。

当時は合併協議会で決定された合併協定書に基づいて、いわゆる「新町まちづくり計画」を基本と



副議長 山本弘敏

野山の緑も一段と濃さを増し、早期米の水田では、田植えも終わって稲も色を出しているようですが、普通栽培の水田ではこれから忙しくなる時期となっております。

町民の皆様方におかれ

して調整が図られた経過がありました。議会も、それぞれお互いに初めて顔を合わせることから始まり、最初の頃は旧町の地域性や歴史の異なる面もあり戸惑う場面もありましたが、お互いにいろいろな町政の現状・課題を知る過程で共通認識も生まれてきました。

四年間の議会運営、また議会活性化を図る上で八頭町議会では議会活性化調査特別委員会を立ち上げ議会の活性化策や諸々の議会改革に取り組んでまいりましたが、今後もその役割と責任は極めて重

ましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

去る四月二十七日に招集された選挙後、初議会において副議長に選任され就任致しました。身に余る光栄に存じますと同時に、責務の重大さを痛感しているところであります。

八頭町も合併後5年目を迎えました。公共交通や給食センターの問題な

要となっております。人間本来、誰しもが完全無欠を望む姿が理想だと思いますが、議会としても今後、行政が進める問題点を明確に開示を行い同時に私たちの議会運営や活動そのものが町民の方々により分かりやすいもので、それで町民の参加しやすい議会を目指していかなくてはなりません。

本日、ここに議長として、議会の活動を主宰する職責を、しっかりと全力を上げて全うする決意を申し上げます。あいつつといたします。

ど、いろいろと山積してはいますが、町民皆様方の声を聞きながら、一番良いと思われる方向を見つけていかなければならないと思っております。

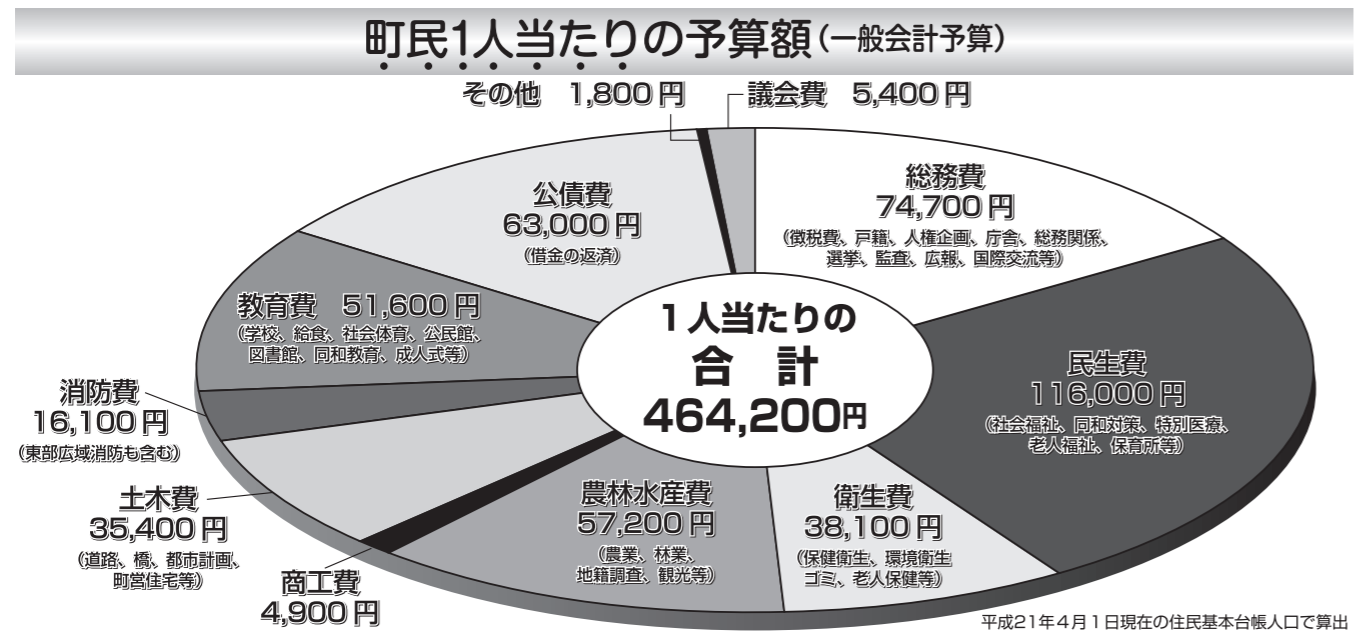
今後も自己決定・自己責任の原則を追求しつつ、本町の発展と住民福祉の向上を目指して対処していく所存であります。

皆様方の温かいご指導よろしく申し上げます。

3月定例会 3月3日～18日 第3回

暮らしの向上を目指して

平成21年度 一般会計予算91億700万円



◆鳥取県関西事務所へ職員を派遣
四月から一年間、大阪関西事務所へ職員を一人派遣 事業費 一、二二万円

◆防災行政無線移動システム
老朽化が進んでいる船岡・八東地域の防災行政無線を更新。全町一斉放

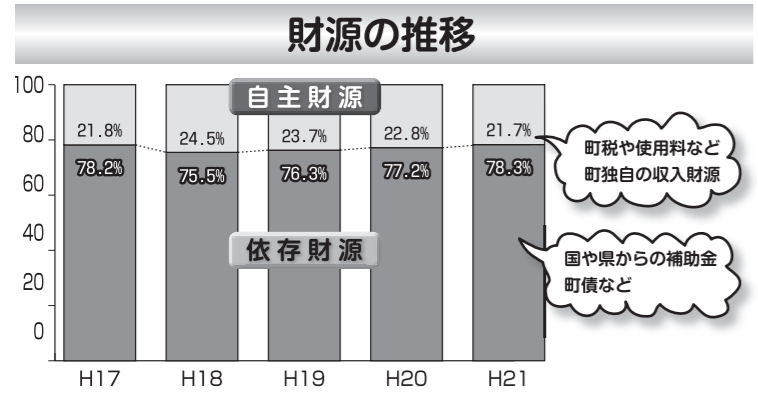
◆緊急雇用創出事業
事業費 一、三四〇万円
財源は全て県補助金

◆若桜鉄道上下分離事業
事業費 一億三九四万円
財源内訳
国庫支出金 一、〇八三万円
県支出金 二、九四四万円
一般財源等 六、三六七万円

◆避難所表示看板設置事業
事業費 二九三万円
財源内訳
県支出金 一、二二万円
一般財源 一、八一万円

【質疑】
町長は「関西県本部に職員を派遣し、関西圏との交流を深めて、本町のポジションを明確化した」と述べているが、成果を出すためにどのような戦術を考えているか。

【答弁】 平木町長
県も関西県本部とのつながりを重視している。職員を派遣したからといって、一朝一夕には成果は出てこない。みんなと一緒にやっていく中で、町の部分をいかに引っ張り出していかかだ。派遣する職員は、町の看板を背負っている。町のPR、企業訪問でも突出してやってもらいたい。



八頭町発足以来の予算額等の推移

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
当初予算額	96億9,300万円	89億8,700万円	93億7,300万円	91億4,100万円	91億700万円

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
公債費	13億6,195万円	13億3,071万円	13億1,135万円	12億9,128万円	12億3,625万円

○17年度～19年度は決算額、20年度は見込み額、21年度は予算額

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
地方債残高	109億7,462万円	110億9,710万円	114億3,644万円	114億1,022万円	114億6,612万円

○17年度～19年度は決算額、20年度は見込み額、21年度は予算額

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
基金残高	11億1,426万円	12億4,722万円	14億1,633万円	14億8,346万円	14億865万円

○17年度～19年度は決算額、20年度は見込み額、21年度は予算額

三月議会定例会を三月三日から一八日までの一六日間の会期で開催した。

平成二一年度一般会計・特別会計予算をはじめ、二〇年度補正予算・条例改正など町長提出議案五四件、議員提出議案二件を原案どおり可決した。

また、陳情四件(うち二件は前回の定例会で継続審査となっていたものは、採択一件、不採択二件、一部採択一件とした)。

一般質問は、七人の議員が登壇し、行政全般について町長にたずねた。

平成二一年度一般会計予算
総額は九一億七〇〇万円、前年対比三、四〇〇万円(〇・四%)の減となった。主な事業の予算額と関連質疑等の概要は次のとおり。

【質疑】
有線放送機能を行政無線整備の中に取り組んでいくということができないか。

【答弁】 平木町長
予約放送はできると思うが、今放送したいという場合は対応できない。

【質疑】
緊急雇用創出事業

【答弁】 井山総務課長
緊急雇用推進費として約一億円程度と、思っている。

【質疑】
町長は「関西県本部に職員を派遣し、関西圏との交流を深めて、本町のポジションを明確化した」と述べているが、成果を出すためにどのような戦術を考えているか。

【答弁】 平木町長
県も関西県本部とのつながりを重視している。職員を派遣したからといって、一朝一夕には成果は出てこない。みんなと一緒にやっていく中で、町の部分をいかに引っ張り出していかかだ。派遣する職員は、町の看板を背負っている。町のPR、企業訪問でも突出してやってもらいたい。

◆埋蔵文化財発掘調査事業
埋蔵文化財が確認された場所(河原イオンター線二期工事区間、下濃)の本調査及び試掘調査を行うもの。
事業費 一億八、九三三万円
財源内訳
県支出金 一億八、八五八万円
一般財源 八〇万円

◆ふるさと雇用再生特別交付金事業
事業費 六、一二五万円
財源は全て県補助金

事業内訳
・公文書等整理保存事業
・若桜鉄道施設等管理
・生ごみリサイクル事業
・美しいまちづくり事業
・地域特産品開発、販路開拓事業
・森林パトロール事業
・駅前地域活性化事業
・観光客誘致推進事業

防災行政無線を更新

送、チャイムの統一、全町瞬時警報システムの導入を行い、防災の要とするもの。

事業費 一、二八九万円
財源内訳
県支出金 二九四万円
一般財源等 九九五万円

【質疑】
図書館司書設置事業

【答弁】 平木町長
国の方針は、各団体に委託してということになっている。町の方針が国に通ったのでやり方について各団体と詰めているところだ。

II その他の質問 II

質疑 本年度の予算の自主財源の確保はどうするのか。

質疑 臨時財政対策債は将来も国が約束を守ってくれと考えるか。

答弁 平木町長

公債費の中で一〇〇％国から補てんがある。危惧はしているが借りたいと思っっている。

質疑

昨年、職員の給与三％カットがあったが、今年はないのか。

答弁 平木町長

管理職は三％、一般職については協議中である。

質疑

各種講演会等の講師の選定と経費の関係は。

答弁 平木町長

地元立派な方がおられるので、三六〇度見渡して講師を求めるときだと思っ。経費は基本的には国・県の補助金、宝くじを優先させている。

特別医療対策事業
一、四〇〇万円の減
特定健康診査事業
七〇〇万円の減
小口融資貸付金事業
四、一〇〇万円の減

答弁 平木町長
自主財源の確保は滞納整理分を徴収して徴収率を上げていくことだろう。自主財源が減った要因は、退職され課税対象者が減ったことや収入が少なくなったことによる。

質疑

河川公園、体育施設、保健施設などの使用料をゼロにする考えはないか。

答弁 平木町長

使用される方の応分の負担は、お願いしたい。

平成二〇年度一般会計
補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ六億一、一七三万円を減額し、総額を九七億八、六四八万円とするもの。
(減額した主な事業)
・防災行政無線整備事業
三億九、九〇〇万円の減

第一回の定額給付金を三月二七日に支払いたい。

人事

◆人権擁護委員の推薦

相談件数の増加と相談内容の複雑・多様化に対応するため、定数七人を一〇人にするもの。
三人の推薦に同意した。
小林英樹氏(中)
湯浅宗生氏(船岡殿)
石破孝行氏(郡家殿)
法務大臣が委嘱し、任期は三年。

契約

◆工事請負変更契約の締結(郡家東小学校災害復旧工事)

法面の処理方法の変更と、木材の処理量の増加によるもの。
変更前七、七二七万円
変更後八、三二八万円

質疑

契約変更に至る経緯は。

答弁 平木町長

昨年一二月湧水により

亀裂が生じたので、工法を変更した。

質疑

◆工事請負変更契約の締結(中央中学校プール建設工事)

積雪による工期の延期、残土を盛土として流用するため、二〇一万円減額し、請負金額を一億六、九一四万円にするもの。

質疑

工期が明日切れるといふときの提案は問題がないか。雪が降ることを想定した工期は設定できなかったのか。

答弁 平木町長

もっと早い時期に提案すべきだった。工事は順調にできていたようだが、天候の関係で工期の延期が必要になった。

条例

◆表彰条例の改正

透明性と客観性をより確保するため、表彰審査委員会の構成員を町長に代え、現在二人の学識経

験者を三人にするもの。

質疑

議長、教育委員長も対象からはすすべきと考えらるかどうか。

答弁 平木町長

議会の議決を経てこの条例は進めている。議長、教育委員長については話をしていない。議会関係でそういうことがあれば、議会の方でも考えていただきたい。

◆課設置条例の改正

環境問題を町の重点課題とし「福祉課」を「福祉環境課」に改正して強力に推進するもの。
今年四月一日から施行

◆介護保険条例の改正

三地域の保険料を平成二二年度までに統一することになってきたが、第四期の保険料の改定時期が今年度であるため、今回統一しようとするもの。

質疑

介護保険計画策定委員会とはどういうものか。

答弁 細田保健課長

委員は一八人で三年間の介護保険計画の策定を行っている。委員の構成は、社会福祉協議会・民生児童委員・医師・老人クラブ連合会・部落解放同盟協議会・女性団体連絡協議会等の各団体の代表者、及び住民・利用者の代表者

質疑

合併協定では、二二年度までに統一するとなっているが、二一年度からするという事は一年前倒しということか。

答弁 細田保健課長

前回は、平成一八年度から二〇年度(三年間)の介護保険料を地域ごとに算出した。今回、第四期の見直しであり、二一年度から三年間の介護給付費の見込みをたて保険料を出すので、統一したい。

反対討論 池本議員

段階的に調整し、平成二二年度までに統一する

という合併協定事項は守らなくてはならない。

賛成討論 前土居議員

協定であつてもその時々々の社会状況や社会の変化に対応した解釈をするのが、法律や協定を生かす道だと考える。

◆職員の給与の特例に関する条例の改正

職員の給与を、五級・六級在職者を三％、三級・四級在職者を二％、一級・二級在職者を一％、それぞれ減額するもの。

質疑

最初(平成一八年)は五％削減、四％削減の年があつた。なぜ今回は一％か。

答弁 平木町長

昨年までを平均すると三％。人事院勧告の中にも若年層には傾斜配分が給料表に表れている。県下の状況と同じく差をつけた。

質疑

ラスパイレース指数はどうなるのか。

答弁 平木町長

昨年は四月一日現在で九四・四パーセント。年齢があり波があるところがあるが、平均的に見ていただきたい。

債権の放棄

◆住宅資金貸付金(三件)

借受人の自己破産や住所不明、給与所得者の再生計画に基づく債務を完済し、徴収不能・連帯保証人の死亡等により債権を放棄しようとするもの。
総額八、九六六千円

質疑

この債権の保管・管理はどのようにしていたのか。また、旧町からの引継ぎはどうなっていたのか。

答弁 平木町長

住宅資金の関係で、再建保全については収納対策室を立ち上げて調査をしているところ。本人と接触できなかった時点でやるべきだった。

答弁 白岩企画人権課長

陳情の審査

●陳情 4 件について審査し、採択 1 件、不採択 2 件、一部採択 1 件とした。

件名	提出者	審査結果
障害者自立支援法の事業者報酬の抜本的見直しを求める陳情	障害者自立支援法の抜本改善を求める鳥取県実行委員会実行委員長 小谷 欣之助	採 択 (提案の趣旨を認めた)
小規模作業所の存続と小規模作業所の利用者負担の廃止についての陳情	同 上	一 部 採 択 (補助金の存続については提案の趣旨を認めた)
後期高齢者医療制度被保険者への資格証明書交付についての陳情書	鳥取県保険医協会理事長 松本 拾	不採択 (制度が発足したばかりであり推移を見る必要がある)
一般廃棄物に関する陳情書	鳥取市桜谷 山田 武一	不採択 (議会の権限外である)

●意見書を関係機関に送ったものは次のとおり
*障害者自立支援法の事業者報酬の抜本的見直しを求める意見書(厚生労働大臣ほか関係大臣へ)
*小規模作業所の存続と小規模作業所の利用者負担の廃止を求める意見書(厚生労働大臣ほか関係大臣へ)



西尾 節子 議員

通学路

児童生徒の環境づくり
教育長／通学方法は
安全を第一に

質問

① 郡家西小学校、隼小学校は、登下校時に校門を通らない。校門を通るべきだと思うがどうか。
② 雪の日の歩道の雪あけのルールはあるか。
③ 通学で、郡家地域だけスクールバスはおかしいという意見がある。検討する気持ちはないか。
④ 携帯電話の所持状況は。

答弁 平木町長

① 基本的には校門を通るべきであろう。
② 基本的には積雪一〇センチ以上であればするように県除雪会議で決めている。
③ スクールバス町営化の方法で進めている。郡家地域だけでスクールバスの運営委員会があるが、全小学校に入ってもらい、バスの協議会と方向性を出してもらおう。

答弁 西山教育長

① 交通安全の問題があり今の方法だろう。
郡家西小学校では、数年前に児童とバスの接触事故があり、安全を第一に考え体育館の横を通って行く。
隼小学校では、校門前の国道四八二号線の横断歩道がカーブ付近で、見通しが悪いため両校とも安全第一に考え指導している。

答弁 西山教育長

④ 小学校六年生では八・四パーセント、中学校二年生では一〇・八パーセントと全国平均より大きく下回っている。学校は持込を禁止している。

その他の質問
・成人式について



▲誰も通らない玄関

行政施策にどのように活かしているか 町長／本会議で約束したことは実行

八頭町となって、議員が行った一般質問は四七八件だった。行政施策にどのように活かしているか。
答弁 平木町長
一般質問は、議員と町長が議論をする場であり、実施率が何パーセントか競い合う場ではない。本会議場で約束したことは、実行に移しているし、できないといったことは、数の把握はしていない。約束した課題で実現できていなければ、一般質問で再度質問していただきたい。
項目のとり方の違いはあるが、こちらの推計では、二七五件のうち、実施したもの二三八件、検討中一四件、未実施三三件となっている。



答弁 平木町長
一般質問は、課長がメモをとって、それぞれ閲覧し、チェックをしている。また、実施の約束をしたものについては、時期を捉えて実施しているし、検討を要するものは担当課に指示している。議会での課題は、全職員に周知・徹底し、問題意識を共有している。
その他の質問
・大雪への対応は
・心配ごと相談事業の運営は



矢部 博祥 議員

質問

議員の提案事項は、どのように整理し、それらの採否を決定する仕組みはどうなっているのか。



前土居 一泰 議員

若桜鉄道

利用促進策は
町長／自分の財産と考え、乗ること

質問

若桜鉄道は本町の活性化に向け大きな財産になると思う。これの利用促進の計画について尋ねる。
また、ダイヤに合わせた職員の勤務時間をつくる考えはないか。

答弁 平木町長

旧町名ものが残っているのが気になっているか。どう考えているか。

答弁 平木町長

自分の財産と考え乗っていたらどうか。解決策はない。イベントの開催・閉会をダイヤに合わせてどうか、会場も駅近くを考えたい。職員にはダイヤに合わせた体系的勤務時間をとりたい。

質問

郵政が民営化されれば世の中がよくなると、ある総理大臣は言われた。県内にもこれに賛成された国会議員もあつた。民営化は町民にとってプラスだったかマイナスだったか。

答弁 平木町長

民営化は以前と比べるとマイナスだと思う。知っている方には現状はこういう問題点があると話す話はないか。

投票所

縮小再編～
合併後一番の愚作だ
町長／不便になるが辛抱していただく



池本 強 議員

意見書は、再編された町の話として、基本的な権である参政権としての投票機会を奪う結果となつていと言っている。権利は多数で決められるものではない。保障がきちんとされない中での縮小再編は極めて残念で、合併後の町の行政施策として一番の愚作と思ふが、愚作は愚作で済まない。重大な投票権、参



▲投票所の様子



▲若桜鉄道利用(安部駅)



▲絵本の読みきかせ（郡家図書館）

①多くの大人に親しまれる図書館をめざして、今後どのような施策を図るつもりか。

②図書館司書は専門的職員である。図書館運営に必要な不可欠な要員であると位置づけ、正規職員として徐々に採用するべきと考えるがどうか。

③県への要望事項は多くあり、要望しても順番は遅くなると思う。

答弁 平木町長

①校ヶ丘分譲地の売却見込みが立てば取り組みたい。

②県の関西本部に職員を派遣し町のPRをした。姫島線・河原インター線を踏まえた中でやっていきたい。

答弁 西山教育長

①町民に喜んでもらえるよう現在実施しているサービスに加え、書籍・郷土資料・文化・歴史講座等も充実させていきたい。

答弁 平木町長

②県内の正規職員は少ない状況だが、大事な職であり何とか考えたい。どのような形かは言えないが今後の課題としたい。

Table with 4 main sections: 1. Meeting Statistics (定例会, 臨時会, 計), 2. Proposal Results (町長提出議案数, 議員提出議案数), 3. Petition Results (請願, 陳情), 4. Committee Statistics (委員会開催日数).

* H18・19・20の数値は町村議会実態調査資料による

4年間の議会活動

平成17年4月24日から平成21年4月6日まで



川西 聡 議員

図書館 司書の正規採用を徐々に図るべき 町長／大事な職であり、今後の課題として考えたい

CATV・光の整備は 町長／公設民営で検討中



▲地域活性化の起爆となるか？形の見えてきた河原インター線（船岡地内）

河原インター線を利用した町の活性化策として。 ①住宅団地の造成は。 ②企業誘致の考えは。

③県への要望事項は多くあり、要望しても順番は遅くなると思う。

答弁 平木町長

①校ヶ丘分譲地の売却見込みが立てば取り組みたい。

答弁 西山教育長

①町民に喜んでもらえるよう現在実施しているサービスに加え、書籍・郷土資料・文化・歴史講座等も充実させていきたい。

答弁 平木町長

②県内の正規職員は少ない状況だが、大事な職であり何とか考えたい。どのような形かは言えないが今後の課題としたい。



岡嶋 正広 議員

河原インター線 周辺道路の現状と課題対策は 町長／県には強く要望している



小倉 一博 議員

①先進地を見てもこのくらい数字で出発して結果が出ている。企業には

②公共施設の統廃合も検討される。今後、周辺地域の活性化はどう対応するのか。

③若年者の働く場所が無い。就労機会の確保について考えは。

答弁 平木町長

①先導地を見てもこのくらい数字で出発して結果が出ている。企業には

②公共施設の統廃合も検討される。今後、周辺地域の活性化はどう対応するのか。

③若年者の働く場所が無い。就労機会の確保について考えは。

答弁 平木町長

①校ヶ丘分譲地の売却見込みが立てば取り組みたい。

答弁 西山教育長

①町民に喜んでもらえるよう現在実施しているサービスに加え、書籍・郷土資料・文化・歴史講座等も充実させていきたい。

答弁 平木町長

②県内の正規職員は少ない状況だが、大事な職であり何とか考えたい。どのような形かは言えないが今後の課題としたい。



▲パソコンは1人1台の時代へ

第二回臨時会

二月三日

臨時会を一日限りの会期で開催した。町長提出議案二件を審議し、いずれも原案どおり可決とした。この二議案は、景気対策のための国の第二次補正予算に対応したものである。

平成二〇年度一般会計補正予算

既定の歳入歳出予算の総額に八億六、一五五万円を追加し、歳入歳出それぞれ一〇三億九、八二二万円とするもの。

◆地域活性化・生活対策費

四億九、三四二万円
八東小学校体育館耐震工事、学校施設ジェイアラート（緊急情報配信サービス）整備事業をはじめ、緊急性のある四二事業を行うもの。

◆町長・町議会議員選

挙費

三九三万円

◆定額給付金事業費

三億一、九〇〇万円

対象者は一九、七六八人

◆子育て応援特別手当事業費

一、〇八六万円

対象者は、三歳以上一八歳以下の子どもが二人以上ある家庭の、第二子以降の四歳・五歳・六歳の幼児

平成二〇年度簡易水道特別会計補正予算

◆簡易水道中央監視設備設置工事費

二、八六〇万円

断水の未然防止及び漏水の早期発見のため、船岡地域と八東地域（日下部）の簡易水道に中央監視施設を整備するもの。

◆妻鹿野浄水場緩速ろ過池（第一池）整備工事

六八三万円

6月定例会（予定）

月	日	曜日	開議時刻	日	程
6月9日	火	9:30	○本会議 ・開会 ・諸般の報告、請願・陳情の委員会付託 ・議案上程、説明		
				○全員協議会	
6月10日	水	9:30	○本会議 ・議案に対する質疑 ・議案の常任委員会付託		
				○常任委員会	
6月11日	木	9:30	○本会議 町政に対する一般質問		
6月12日	金	9:30	○本会議 町政に対する一般質問		
6月15日	月	9:00	○常任委員会		
6月16日	火	9:00	○連合審査		
6月17日	水	9:00	○全員協議会		
6月19日	金	9:30	○本会議 ・議案の可否決定 ・請願・陳情の採否決定 ・閉会		

※全て傍聴できます（特別の場合を除く）

自治功労表彰

二月二〇日自治功労として次のとおり表彰された。

○全国町村議会議長会表彰
町議会議長として一五年以上在職し、功労のあった者
河村久雄 議員
林 展正 議員

○鳥取県町村議会議長会表彰
町議会議長として二五年以上在職し、特に功労のあった者
鎌谷 收 議員

○町議会議員として二三年以上在職し、功労のあった者
秋山宏樹 議員
川西 聡 議員

議会の傍聴をしてみませんか

TEL 0858-72-3975

FAX 0858-72-2641

会議録HP

<http://www.kensakusystem.jp/yazu/index.html>

編集後記

任期満了に伴う議員の改選で、新たに本号第三ページのメンバーが本紙の編集を担当することになりました。メンバー七人のうち五人は初めての担当で大幅に変わりました。メンバーが決まると早速、待っていたのは選挙のためお預けになっていた三月議会以降の議会の動きを盛り込んだ本号の発行作業でした。

本来ならメンバーも変わったところで、そのアイデアを活かした編集企画を考えたいところですが、発行時期との関係もあり、それは次号以降に譲らせていただくこととしました。

「議会の使命」、「本紙の使命」を常に念頭に置き、町民のみなさまからより高いご満足がいただけるよう、メンバー一同頑張っています。

どうぞご鞭撻とご意見をいただきませうようよろしくお願ひします。

八頭町議会広報常任委員会
委員長 矢部博祥